

平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月1日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

上場取引所 東

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業グループ管理本部長 (氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	578	14.6	65		62		76	
30年3月期第3四半期	504	1.3	66		62		68	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 76百万円 (%) 30年3月期第3四半期 68百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	9.03	
30年3月期第3四半期	9.22	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	3,090	2,011	64.9
30年3月期	3,295	2,017	61.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 2,006百万円 30年3月期 2,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	982	29.6	25		24		39		4.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	8,420,090 株	30年3月期	8,333,090 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	1,130 株	30年3月期	1,130 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	8,415,480 株	30年3月期3Q	7,418,460 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績につきましては、動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）、海外向けのEIAキット等の研究用試薬や血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」、海外向けの化粧品の売上が好調であったこと等により、売上高は578,781千円（前年同期比14.6%増）となりました。利益面においては、売上高が増加したものの、製造設備の更新（当社グループは、資産計上は行わず一括費用処理としております。）等により製造原価および販管費が増加したことにより、営業損失が65,718千円（前年同期は66,260千円の営業損失）となりました。また営業外損益においては、外貨建資産の為替差益発生等により、経常損失が62,866千円（前年同期は62,401千円の経常損失）、特別損益においては、当社グループが保有する土地の評価額の低下による減損損失の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は76,060千円（前年同期は68,438千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の各セグメントにおける営業利益においては、遺伝子組換えカイコ事業以外のセグメントにおいて、利益を計上することができました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・診断・試薬事業

当事業においては、研究用試薬関連及び医薬用関連ともに順調に売上を計上することができました。研究用試薬関連においては、国内市場では主力の抗体関連製品の売上は若干減少しておりますが、海外市場において、取引先との関係構築や学会等への積極的な参加、さらに新規販売代理店との契約締結等に注力した結果、当第3四半期連結累計期間において、海外への売上を大きく伸ばすことができました。医薬用関連においては、主力である動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キット（BSEキット）の売上が前年同期と比較して大幅に増加しております。

当事業の販売につきましては、国内の研究テーマにより浮き沈みがあり、不安定な一面もありましたが、海外販売の展開が徐々に増加してきたことで、安定した販売を見込めるようになりました。今後も海外販売に注力し、安定した経営を目指してまいります。

その結果、当セグメントの売上高は430,267千円（前年同期比7.9%増）となり、営業利益は88,502千円（前年同期比36.3%増）となりました。

なお、当事業においては、継続して安定した利益創出を目指します。

・遺伝子組換えカイコ事業

当事業においては、各種抗体等の受託の売上のほか、iPS細胞等の培養足場材として有用であるラミニン511-E8が次第に認知度を高めており、売上が増加し始めております。

当事業においては、遺伝子組換えカイコを用いた医薬品製造を実現させるべく、その製造技術の開発を進めているところであり、事業の重点を研究開発に置いております。なかでも抗HIV抗体に関するバイオ医薬品開発は順調に推移しております。

その結果、当セグメントの売上高は16,754千円（前年同期比55.4%増）、営業損失は166,657千円（前年同期は131,027千円の営業損失）となりました。

なお、当事業においては、継続的に積極的な研究開発費を投じ、中長期的に企業価値の向上を目指します。

・検査事業

当事業においては、主力事業の血中リポタンパク質プロファイリングサービス「LipoSEARCH」の大型案件を売上計上することができました。今後につきましては、従来に引き続き、診断・試薬事業部門と営業活動を共有化し、学会展示によるプロモーション活動を積極的に行い、双方のマーケット市場において販促活動を強化してまいります。

その結果、当セグメントの売上高は96,944千円（前年同期比13.8%増）、営業利益は11,393千円（前年同期比67.6%増）となりました。

なお、当事業においては、前期に引き続き、通期において利益創出を目指します。

・化粧品関連事業

当事業においては、「ネオシルク®ーヒト型コラーゲンI」配合化粧品「フレヴァン」シリーズの国内通信販売の売上が減少いたしました。中国での販売が承認されたことから、中国向けの販売を開始し、売上高が増加して

おります。しかしながら、中国向けの当第3四半期会計期間においては、製品デリバリー等の影響や中国販売代理店と知的財産権等の取扱いについて協議しているため、出荷が第4四半期会計期間以降にずれ込む予定です。

その結果、当セグメントの売上高は40,058千円、（前年同期比196.7%増）、営業利益322千円（前年同期は7,703千円の営業損失）と、利益を計上することができました。

なお、当事業においては、通期において利益創出を目指します。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比6.2%減の3,090,802千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

親会社株主に帰属する四半期純損失76,060千円の計上や、借入金の返済127,566千円等により現金及び預金が279,034千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末比15.5%減の1,079,659千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

新株予約権の行使により一年内償還予定を含む転換社債型新株予約権付社債が69,426千円の減少、借入金の返済等により1年内返済予定長期借入金及び長期借入金が97,566千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比0.3%減の2,011,142千円となりました。

この主な要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ34,713千円増加した一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が76,060千円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,510,029	2,230,995
受取手形及び売掛金	203,114	197,141
商品及び製品	48,612	85,679
仕掛品	122,986	131,117
原材料及び貯蔵品	106,099	121,616
その他	6,939	34,238
流動資産合計	2,997,780	2,800,788
固定資産		
有形固定資産		
土地	122,274	114,019
有形固定資産合計	122,274	114,019
投資その他の資産		
投資有価証券	105,266	105,266
繰延税金資産	3,001	3,001
その他	66,691	67,725
投資その他の資産合計	174,959	175,993
固定資産合計	297,234	290,013
資産合計	3,295,015	3,090,802
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,772	4,550
1年内返済予定の長期借入金	146,088	124,168
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	520,695
賞与引当金	13,633	9,515
その他	134,659	107,295
流動負債合計	302,154	766,224
固定負債		
長期借入金	182,956	107,310
転換社債型新株予約権付社債	790,121	200,000
退職給付に係る負債	2,006	6,124
固定負債合計	975,083	313,434
負債合計	1,277,237	1,079,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,636,302	2,671,015
資本剰余金	1,668,682	1,703,395
利益剰余金	△2,289,625	△2,365,686
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	2,013,369	2,006,734
新株予約権	4,408	4,408
純資産合計	2,017,777	2,011,142
負債純資産合計	3,295,015	3,090,802

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	504,844	578,781
売上原価	205,188	230,695
売上総利益	299,655	348,086
販売費及び一般管理費	365,915	413,805
営業損失(△)	△66,260	△65,718
営業外収益		
受取利息	41	39
受取配当金	600	600
為替差益	1,130	4,256
保険解約返戻金	2,158	—
その他	1,833	1,126
営業外収益合計	5,763	6,022
営業外費用		
支払利息	1,404	1,047
新株発行費	314	2,101
その他	186	20
営業外費用合計	1,905	3,169
経常損失(△)	△62,401	△62,866
特別損失		
減損損失	576	8,255
投資有価証券評価損	2,349	—
特別損失合計	2,926	8,255
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,328	△71,121
法人税、住民税及び事業税	3,110	4,938
法人税等合計	3,110	4,938
四半期純損失(△)	△68,438	△76,060
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△68,438	△76,060

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△68,438	△76,060
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△68,438	△76,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,438	△76,060
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使に伴い、87,000株の株式が増加しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ34,713千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,671,015千円、資本剰余金が1,703,395千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。